

「心、思い、考え方を新しくされる」

ローマ12：2

堀田修一 24・6・2

I 「この世と調子を合わせてはいけません」：2。

1. このみことばは、この世と一切、関わってはいけないという意味ではない。世の中の人と「全然交際しないように」という意味ではありません。もしそうだとしたら、この世界から出て行かなければならないでしょう（I コリント5：10）。キリスト者は、家庭、職場、学校、社会に神により遣わされ、人々を愛し、仕え、関係作りをし、主の香りを放ち、主を証しするように召されています。

2. 「この世と調子を合わせてはいけません」とは、この世、時代の罪、悪に同調してはいけないという意味です。この世の悪、罪、悪習と調子を合わせると、一時は「あなたは、クリスチャンなのに、話が分かる」と言われ、悪に同調し続けた後で「あなたは、それでもクリスチャンか」と言われる。人の心は複雑である。世の人は、クリスチャンと聞くと、距離を取る人もあれば、心の中で、クリスチャンは、悪に同調せず、社会の悪と神に頼って戦ってくれると尊敬している人もいる。迫害される面もあれば人目ではなく神の前に生きている人として尊敬されている面もある。私たちは、神に世から救い出され、きよめられ、もう一度、世に神の証し人として世に遣わされる「地の塩（世の罪、悪の防腐剤の使命）、世の光（主から光を受け、その正しい愛と救いの福音の希望の光を世に放つ者）」（マタイ5：13, 14）です。

II 「むしろ、心を新たにすることで、自分を変えていただきなさい」：2。

1. 「心（原語：知能、思考、理解力、分別、心、考え方。英語では heart では無く mind）を新たに（原語：「再び」と「新しい」の合成語。更新、一新）」とは、私たちの人間の存在の本質、心、思い、考え方、物事の捉え方が、聖霊によって変えられて新しくされることを意味します。※現代の認知行動療法＝認知と行動に働きかけ、「思考」のバランスを考えストレスを減らす精神療法。聖霊は、私たちの心と思考を変え主の姿、品性に変え続けてくださる。

①心、考え方を新たにするのはご聖霊。主を信じ、心に聖霊が宿られることにより、新生、新しく生まれ、新しいいのちをいただく。「人は水（きよめ）と御霊によって生まれなければ、神の国（神の支配、救いの領域）に入ることはできません。」ヨハネ3：5。聖霊により心、理解力、思考が新生していない時は、聖霊が記者たちを導き記された聖書のみことばは、人の頭の知識では決して理解できない。しかし、未信者の方が、礼拝に集い続け、聖書のみことばを学び続けられる時、神の時に、その人に聖霊が宿られる瞬間がある。そうすると不思議に、新生を与えられた内住の聖霊により、新しい心、理解、思考が与えられ、礼拝説教や聖書のみことばが、心で理解できるようになります。私も皆さんもその恵みを体験して来ました。そして今もご聖霊のみことばにより、主の姿に変えられ続けているのです！何という恵みでしょう。「神は、私たちが行った義のわざによってではなく、ご自分のあわれみによって、聖霊による再生と刷新

の洗いをもって、私たちを救って下さいました」テトス3：5。

②私たちの心、考え方、物事のとらえ方を新たにするのは、いのちのみことば。「あなたがたが新しく生まれたのは、朽ちる種からではなく朽ちない種（みことば）からであり、生きた、いつまでも残る、神のみことばによるのです」Ⅰペテロ1：23。「生まれたばかりの乳飲み子のように、純粋な、霊の乳（みことば）を慕い求めなさい。それによって成長し、救いを得るためです」2：2。

③いのちのみことばを私たちが日々味わい、礼拝説教のみことばを噛みしめるときに、私たちの心、考え方、物事の捉え方は、日々新たにされ続けます。出来事、問題を神の視点、神による考え方、すべては偶然ではなく神の御手にあることとして受け止めることが出来ます。そうすると不安に支配されていた心が落ち着き、自分の頭では理解出来なくても、神は最善をして下さると考え認知し、すべてを神に委ね、自分に出来る事を主に頼って行うように変えられます。人生には問題は常に起きます。ですから、問題以上に大切な事は、それぞれの問題を、どう考え、捉え、対処するかです。究極的な人生の秘訣は、「問題や困難の中で、自分一人で考え対処するか、それとも、主に頼り主と共に人生の問題、課題を受け止め考え、自分の素手で問題を受け止め、考えるのではなく、偉大な方、主と共に問題を受け止め、祈りつつ神から知恵、判断力をいただき対処する事」。※二人の人が同じような困難に直面する。しかし、その困難への対処、考え方、捉え方の違いで、一人は不平不満、恨みの人生、もう一人は試練の中でも主の恵みを数え感謝の人生を送る。聖霊は、私たちが、物事や問題、悩みを一面からではなく、色々な角度、全体から考える冷静さを与えられます。私たち人間は、悩みの時、狭く狭く考え「もう駄目だ」と結論づけます。しかし、悩み、問題を神に打ち明けご相談する時に聖霊は、一面ではなく全体的に考え判断すること、神の御手の中にあることとして考え祈りつつ対処するように導かれます。これこそ聖書が教える人生の生き方です→「あらゆる境遇に対処する秘訣を心得ています」ペリピ4：12＝主に頼りつつ物事を神の視点で考え、対処し下を向くか神を見上げるかは最も大切な人生の選択です！いつも神を見上げましょう。

Ⅲ「自分を変えていただきなさい」：2。

1. 新改訳2017の訳を私は、喜んでいます。これまでの訳は、「自分を変えなさい」でした。自分で自分を変えることは無理で、この訳は厳しいものでした。しかし、時満ちて、原語に忠実な訳「自分を変えていただきなさい」と訳されました。自分で自分を変えることは無理なので、自分自身を神にささげて、神の恵み、御聖霊、みことばによって「自分を変えていただきなさい」。この原語を忠実に訳すと「変えられ続けなさい」の意です。一度にではなく、主の姿、品性に日々変えられ続けるのです。同じ原語がⅡコリント3：18にあります→「私たちはみな、覆いを取り除かれた顔に、鏡のように主の栄光を反映しつつ、栄光から栄光へと、主と同じかたちに姿を変えられていきます。これはまさに、御霊なる神の働きによるのです」。私たちは、自分の力で自分を主の姿、品性に変えることはできません。それ故に、みことばは、明確に、私たちが変えられるのは「御霊なる神によるのです」と励まされます。御霊なる神は、御霊が聖書記者を導き記された聖書のみことばと共に働かれますので、御霊は、私たちの心を直接に触れて変えられると同時に、私たちが日々、読み味わうみことばや教会に祈られた教会の業としての礼拝説教のみことばを通して私たちを変え続けてくださいます。

2. 「自分を変えていただきなさい」の原語には、外から内へ変えられるという意味ではなく、御霊の内住により新生し、既に与えられている新しい内的本質、新しい性質がおのずから外に表れるように御霊によってしていただきなさいという含蓄を持っているみことばです。醜い毛虫が美しい蝶に変わる様子を英訳は指しています。つまり、御霊なる神は、主を信じた時に新しくされた心、考え方、本質が表に出るように、邪魔している罪、悪、悪い心、悪い考え方を取り除いて下さるのです。「ですから私たちは落胆しません。たとえ私たちの外なる人（肉体）は衰えても、内なる人（御霊により新生された心、霊、正しい考え方は日々新たにされています）Ⅱコリント4：16。

「だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべて（心、思い、考え方、物事の捉え方が）新しくなりました」5：17

結び：私たちには希望があります。私たちは自分の力で自分を変えることはできません。しかし、御霊なる神は、日々、御霊の実である愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制の実を实らせ続け、みことばで私たちの心、思い、考え方を養い、私たちを主の姿、品性に変え続けておられます。